

Stage Up

ステージ・アップ
通巻 No.193
2013年8月1日
(隔月発行)

ホームページからも
ご覧いただけます!



切り絵シリーズ「川崎にある風景から」③
「輝け杉の子」生田緑地枅形山広場 青木幸夫

もくじ

- 7 6 情報ポケット
- 7 6 施設めぐり
- 4 3 2 川崎市市民ミュージアム
- 4 3 2 特集
- 4 3 2 シニアのパレット
- 2 まち・ひと・多面体

誌上ギャラリー

生田緑地の枅形山広場に、川崎市学童疎開四十周年記念のブロンズ像「輝け杉の子」(圓鏝元規(えんつばもと)のり)があります。
昭和19年、川崎市内の学童の多くが市北部や大山、足柄、津久井方面に疎開しました。この像は、戦争の悲惨、平和への願いを留めるべく、昭和60年に制作されたものです。同じものが大山阿夫利神社境内にもあります。子どもたちが指を差し、視線を送る先に家族の残る川崎の地があるのです。

※このシリーズでは、趣味で切り絵制作を続けている作者が川崎にちなんだテーマで制作した作品を掲載しています。



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085

<http://www.kpal.or.jp/>
E-メール: stage-up@kpal.or.jp



当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

暮らしの中の文化財 ～たま文化財ボランティアの会～

文化財という言葉を知ると特別なもので歴史を知らないといけないというイメージを浮かべやすいものです。しかし、たま文化財ボランティアの会では、「文化財は暮らしに密着したもの」と、堅苦しく考えず、主に多摩区の文化財について調査をしたり見学会を開催したりしています。

多摩市民館の企画講座“多摩文化財ボランティア養成講座”を受講された皆さんが活動を始めたのは平成19年。「今やらないと大切な文化財が埋もれてしまう」と、まずは昭和54年に川崎市が行った多摩区にある700体の石造物の再調査をし、記録に残す作業を



始めました。自分たちが暮らしているこの地で、昔の人たちは何を思い、何を楽しみ、どのように暮らしていたのか。石仏を前に思いを巡らし、現代の暮らしに照らし合わせてみる皆さん。「価値観や世界観が変わった」という方もいました。



紙本墨画着色 松寿弁才天図

「50年も経てば何でも文化財ですよ」と話す代表の佐藤昭さんは、「身近にある文化財を知ること、昔の人たちの暮らしや知恵がわかり、生き生きと暮らしていたことが感じられる」と言います。

昨年秋に開催した『多摩の文化財めぐり』の講座には、市内外から25人の方が参加しました。「散歩道にある石仏が気になったので…」と気軽に参加する方も多かったのですが、常照寺で特別に公開していただいた『紙本墨画着色 松寿弁才天図』(1858年)を見つめる目は真剣そのもの。「自分の住んでいるところに、こんな文化財があるとは知らなかった」と驚いていました。また、庚申塔の前では「ウォーキングの楽しみがまた一つ増えました」と嬉しそうに説明を聞いている方もいました。



「時代を超えて出会った文化財には、先人たちの知恵やメッセージがいっぱい詰まっています。きちんと次世代に伝えていかなくては…」地道な中に力強さを感じさせるこの活動は、皆さんの思いと共に広く受け入れられていくことだろうと感じました。

■問合せ たま文化財ボランティアの会 佐藤昭 TEL 044-811-7997

～今、自分にできることを～ 応急手当指導員・応急手当普及員

ここ数年、駅や銀行など多くの場所でAED(自動体外式除細動器)が設置されているのを見かけるようになりました。しかし、緊急時に“どのように使うのか”を知っている人はどのくらいいるのでしょうか。

会社や地域などでも盛んに行われるようになってきた救急救命講習、中原消防署管内では平成24年度中になんと約140回もの講習が行われたそうで、住民の意識の高さがうかがわれます。

当財団でも年に1度講習を行っているのですが、いつも指導に来てくださる方の中に、消防団の活動服を着た女性や私服姿に名札を付けた方がいます。



消防署員の講義・説明の後、テキパキとした動作で手順を説明する様子に頼もしさを感じ、どのような方々なのだろうかと気になってお話をうかがいました。

活動服の女性は川崎市では各区に設置されている消防団の団員でした。中原消防団では応急手当指導員(普及員)の活動を推奨しているようで、消防団員だけでなく、ボランティア委員会にも声をかけ、指導員(普及員)の資格者を増やし、救命講習の手伝いをしています。



消防団の活動で応急手当の必要性を感じ、常に訓練していないといざという時に役に立たないことを知ったという皆さん。講習会のお手伝いをしながら、自分も繰り返し学んでいると言います。仕事や家事をしながらのボランティア活動に「大変ですね」と声をかけると「消防署と消防団の理解や家族の協力があって活動できることに感謝しています」と、いたって謙虚におっしゃいました。「でも、やっぱり好きなのかな」「楽しく学んでもらいたいし、講習会の後などに声をかけてもらえると嬉しいです」と、人とのつながりの中に喜びを感じているようでもありました。

“今、自分にできること”を大切に活動している皆さんに、学んだ取材でした。

■問合せ 中原消防署 TEL044-411-0119

昔話は、昔の人たちが見た日本の風景であり心情である

～昔話の再話活動に取り組む、小澤俊夫さん～

～昔ばなし大学～

再話した作品が1000話に

「昔話を後世にきちんと伝えたい」という思いから、各地に伝わる昔話を一般の人にも読みやすく再構成し文章化する人たちを養成している「昔ばなし大学」の主宰者で、その大学を総合的にサポートしている小澤昔ばなし研究所所長の小澤俊夫さん（多摩区）を訪ね、お話を伺いました。小澤さんは、筑波大学名誉教授でドイツ文学者（グリム童話の研究者）ですが、「昔話を全国に広め、各地に根づかせたい」と「昔ばなし大学」の活動を20年以上続けています。ちなみに世界的な指揮者である小澤征爾さんの兄にあたり、音楽の造詣も大変深い方です。

再話と「昔ばなし大学」



小澤俊夫さん

再話とは、昔から聞き書きされてきた昔話を一般の人にも読み聞きやすくするために再構成したり文章に直したりすることを言います。その再話には、ある一定の法則性があり、出来事の繰り返しや余分な表現をできる限り省いて昔話の伝えたいメッセージなどを、大切に残していくというきめ細やかな作業を必要とします。その作業にかかわる人を再話者と言います。

再話作成の過程においては、再話者同士がグループになり、議論を交わしながら進められます。一話の再話が出来るまで多くの時間を費やすかなり根気の必要な作業でもあります。しかし、再話者にとっては、時間のかかる作業でも、昔話を後世まできちんと伝えていきたいという目標があるので続けることができると小澤さんは言います。再話者も立ち上げ時から比べて増え、現在は全国各地で再話活動が続けられています。小澤さんご自身も、全国を忙しく廻り養成者の指導や各講座の講師として尽力されています。

昔話 1000 話の再話が完成！

昔、語り手は、子どもの頃家に囲炉裏がありそこで昔話を聞いて育ってきました。その話を大人になって自分なりに再構成し、子どもたちに語り聞かせてきました。その点では、語り方や内容構成に上手下手の差があっても、間違いなく再話者の一人であったと小澤さんは言っています。しかし、現代(40代～60代)の語り手は、子どもの頃に囲炉裏で昔話を聞いた経験も少なく、あえて語り口や内容構成など新たに研修しなければ、昔話本来のメッセージが伝えられないという考えから、再話者を養成する場として「昔ばなし大学」を開校し、その指導を続けてきました。これまでに、全国各地で受講生が約13,000人にも及び、再話活動の担い手として育ってきています。それにともない再話された昔話が1000話に到達。「昔話は、各地の土地言葉で語り聞かせることが理想だが、わざとつくった方言は、使わないことが昔話の大切な点です。」と教えてくれました。



昔ばなし大学の授業

ミ
ニ
ム
の
パ
レ
ッ
ト

昔話は、リアルに語らないもの

ところで昔話には、残酷な場面が登場してきます。しかし、その場面を決してリアルに語らないことが大事なことで、例えば「白雪姫の継母は、最後に鉄の靴を履いて死ぬまで踊らされる」が、その場面を細かく描写していない。残酷な描写を抜いて語り聞かせることが昔話には大切なこと。語り手は、そのことを念頭に置きながら、昔話のメッセージをきちんと伝えていくことも、再話者の役割として重要なことであると話していました。

再話の実例

〔三年寝太郎〕

昔、あるところに寝てばかりいる怠け者がいた。何年も寝たある日、町へ行って鳩と提灯を買ってきて、隣の長者の松の木に上り叫んだ。「我こそは鎮守の森の神である。お前の家の一人娘に隣の寝太郎を婿にとらなければ、お前の家はたちまち傾くであろう」寝太郎は提灯に火を灯し、鳩の脚に結びつけて放した。鳩は鎮守の森へ飛んでいった。長者はすっかり本気にしてしまって、翌朝寝太郎のところへ行き、「鎮守の森の神様のご命令だから、ぜひうちの一人娘の婿になってくれ」と頼んだ。寝太郎は婿になり、それからは精出して働いた。どっとはれ。
(これでおしまい)

再話された昔話、10巻の完成をめざして

小澤さんは、川崎市内で一般市民や小学校の図書室の整理や読書指導している「図書館コーディネーター」の研修に講師として招かれています。昔話を川崎にも根づかせていきたいという思いを強く感じます。「小学生にも昔話を数多く聞かせてあげたい」と笑顔で話し、尽きることのない再話活動の情熱が伝わってきました。また、既刊されている再話本5巻とは別に、10巻ほどの全集を出版したいとこれからの抱負を聞かせてくれました。



昔ばなし大学の授業

■問合せ：小澤昔ばなし研究所 Tel 044-931-2050



25周年を迎えた 川崎市市民ミュージアム

「都市と人間」という基本テーマを掲げて1988年に開館した川崎市市民ミュージアムは、今年で25周年。近現代の表現を中心に、日本で初めての写真部門、漫画部門を持つ美術館との、2つの顔を持つ複合文化施設なげの発信をします。また、「文化芸術を活かしたまちづくりの拠点」としての役割を再確認しつつ、市民ミュージアムの今、そして今後に向けた取り組みについて、川崎市市民ミュージアム 原 隆 館長にお話をうかがいました。

今が過去になる前に…ここから歴史をつくる

3年前から取り組まれてきた“今をどう未来に継承していくのか…”という課題。現在は百年後から見れば過去になる。“今”を残すことの重要性と次世代に残すこと・伝えていくことの大切さを想い、今できること、今やらなくてはならないことを行っています。

●若手作家を育てる●

「川崎市ゆかりのアーティストは待っているだけでは生まれてこない。それならば育てていこうではないか」という視点に立って、市民ミュージアムならではの取り組みを始めました。今回の「新世代アーティスト展 in Kawasaki」を初回として回数を重ねていくことが、未来に向けて川崎市ゆかりのアーティストを増やすことにつながり、またそのアーティストが世界へ羽ばたいていくことの足がかりとなる展覧会になるようにしていきたいと考えています。

新世代アーティスト展 in Kawasaki
セカイがハンテンし、テイク 7月20日(土)～9月29日(日)
(世界が反転していく)

「現代のコミュニケーションのありようを考える」をテーマに、メディアと芸術の関係に注目してきた当館独自の視点によって構成した、国内外8組の若手現代芸術家による作品を紹介します。



北上伸江<Rotation Rotation> 映像インスタレーション2010年(参考作品)

●市民文化の伝承と発信拠点として●

博物館の側面からは、川崎市が発展していく過程において起こった公害問題などの負の部分も含めて紹介しています。また“今をどう保存するか”ということについても、市民ミュージアムの得意とする映像での保存に取り組んでいます。

カワサキ・シティ 日本を牽引する街 10月12日(土)～12月15日(日)

川崎市は京浜工業地帯の中核として、高度経済成長期には日本を牽引し大躍進を遂げました。そして現在も、公害を克服した環境先進都市として、また日本を代表する先端産業都市として変貌を続けています。

このような川崎市の都市形成過程を紹介するとともに、この地域が今後どのように移り変わっていくのかを展望します。



川崎都市計画街路構図 昭和10(1935)年 市民ミュージアム蔵

●みんなを感じるミュージアムへ●

普段訪れる機会が少ない認知症高齢者の方や障がい者の方に向けた取り組みも始めました。障がい者の方が芸術作品に触れることで、普段見せない表情や姿を見せたり、「また絵を見に行きたい」と言ったり。このような機会の提供は市民ミュージアムの特色であり、大きな役割と考えます。

柴川敏之 | 2000年後の今に触れる☆プロジェクト | PLANET TACTILE
7月9日(火)～9月29日(日)

英語で「触れて感じる」を意味するTactile(タクタイル)を冠したこの展覧会は、市内の特別支援学校の児童・生徒たちがワークショップで制作した作品、市民ミュージアムの収蔵品、そして柴川敏之さんの作品を一堂に会して紹介します。時代を飛び越え、コトバや感性で鑑賞する展覧会をめざします。



川崎市立養護学校生徒のワークショップ

今、そしてこれから

を迎えます。川崎の成り立ちと歩みを考古・歴史・民俗などの資料で紹介する博物館と、設として歩んできました。節目を迎えた今年、記念事業の開催とともに新たな展開につこれからの新たな四半世紀を進む足がかりとなるよう取り組んでいます。



子どもたちが集まるミュージアムへ 世代を超えて楽しむマンガ・アニメ

マンガやアニメは市民ミュージアムが得意とする分野で、豊富な資料を誇り、幅広い世代の市民に支持を受けています。日本のマンガ・アニメは今やサブカルチャーではなく、世界的にも一つの文化として注目を浴びており、国内では、マンガを活かしたまちづくりを展開している自治体もあります。市民ミュージアムが地域の活性化につながる拠点として、マンガ・アニメ等を活用してまちづくりにつなげていきたいと考えます。

マンガ・アニメ祭り 7月13(土)～11月10日(日)

Part1. マンガ+プラス展 7月13日(土)～8月25日(日)

Part2. 夏休みアニメ祭り(映画上映) 7月13日(土)～9月1日(日)

Part3. アニメ化40周年 ルパン三世展 9月7日(土)～11月10日(日)

3つの企画を通して、開館当初からマンガ・アニメを積極的に紹介してきた当館ならではの切り口で、世界的に注目されている日本のマンガ・アニメの世界を紹介します。



ルパン三世 (c) モンキー・パンチ (c) モンキー・パンチ/TMS・NTV

子どもたちに気軽に市民ミュージアムに来てほしい。そして大きくなってから、親になってからも自分の子どもと一緒に来てもらいたい。そんな願いも込めて…

ようこそ『美の広場』へ ミュージアムサロンの始まり

市民の文化芸術のすそ野を広げる取り組みとして、現在企画中なのが「ミュージアムサロンBRA-BA(ブラーバ)」です。ここに集まった作り手と作り手、作り手と観客が出会い、互いに「ブラボー!」と言い合える「場」という意味が込められています。

文化や芸術は遠い存在、高尚なものではありません。もっと生活の身近にあっていいものと考えています。BRA-BAは「ぶらっと」気軽にに行ける「場所」という意味でもあります。市民の日々の暮らしの延長線上にある市民ミュージアムでありたいと思います。

『食とアートと音楽と』～新たな分野へ～

市民ミュージアムが開館した月にあたる11月に「食とアートと音楽と」をテーマにしたイベントを開催します。食に関するアート作品の展示や音楽鑑賞、中庭では地元野菜を販売するマルシェ(市場)を実施する予定です。アートの考え方を柔軟に広くとらえることで新たな領域にも挑戦しつつ、異分野・人をつなげるコーディネーターとしての役割も担っていきたくと考えます。

誰にでも優しく、開かれたミュージアムへ 市民ミュージアムだからこそできることを一歩ずつ…

川崎市市民ミュージアム ☎044-754-4500

〒211-0052 川崎市中原区等々力 1-2(等々力緑地内)

開館時間：9：30～17：00(入館は16：30まで)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の

翌日(土・日の場合は開館)、年末年始

●交通案内

JR・東急「武蔵小杉」駅から川崎市バスで約10分

「市民ミュージアムバス停」下車



施設めぐり

市内公的施設および当財団が運営管理する施設のご紹介

かわさきエコ暮らし未来館

JR川崎駅東口から16番「臨港バス川03系統浮島バスターミナル行き」終点「浮島バスターミナル」下車徒歩10分
Tel 044-223-8869



かわさきエコ暮らし未来館

かわさきエコ暮らし未来館は、次の3つのテーマを軸に環境問題について、楽しみながら学べる施設です。

地球温暖化対策

再生可能エネルギー

資源循環

展望スペースからは、浮島太陽光発電所（メガソーラー）を望めるほか、羽田空港に離発着する飛行機を間近に見ることができ、気持ちが癒される所です。

夏休みには、体験を通してエコやエネルギーについて学べる環境教室を開催する予定です。詳細は、ホームページをご覧ください。



浮島太陽光発電所の上を飛行する飛行機



環境教室で体験する子どもたち

多摩市民館

小田急線向ヶ丘遊園駅から徒歩5分 Tel 044-935-3333
JR南武線・小田急線登戸駅から徒歩15分



多摩区総合庁舎

多摩市民館は、多くのサークル・市民活動団体の活動の場であり市民の生涯学習施設として利用されています。また、市民の生涯学習支援のほか、多摩区総合庁舎内にある利点を生かして、毎年、次の3つのまつりを開催し福祉や子育て・生涯学習のまちづくりに力を注いでいます。

- 多摩ふれあいまつり（6月）
- たまたま子育てまつり（9月）
- たま学びのフェア（3月）



家庭教育支援講座

市民館での保育活動・障がい者社会参加支援・識字学級・生涯学習相談においては、市民ボランティアの方々と協働でそのスキルを十分に発揮して、各事業を進めていることも大きな特徴です。また、今年度は、市民館の認知度アップ、利用の促進をめざして、事前に申込みいただいた各団体の皆様に市民館を全館開放して自由に利用・交流いただける「多摩市民館デー」を実施しますので、多くの皆様のご来館をお待ちしています。

“区民の学びを支える”多摩市民館デー 8月25日(日) 10:00～15:30

多世代のつどい・学び・つながることを目的に、魅力的で楽しいイベントを開催します。

多摩区子ども区民会議、多摩区子ども探求クラブ、多摩川音頭舞踊会、世界の料理づくり、折紙の行事飾りづくり、市民館歴史写真展、生涯学習相談会、PTA広報紙展示ほか多数



たまたま子育てまつり

川崎市子ども夢パーク

JR南武線津田山駅下車徒歩5分 Tel 044-811-2001

「やってみたい」がいっぱいある場所 川崎市子ども夢パーク 10周年

川崎市子ども夢パークは、『川崎市子どもの権利に関する条例』に基づき、それを具現化するための施設として2003年7月23日にオープンしました。そして、2013年の今年、丸10年を迎えました。いままでも これからも 子どもたちの“やってみたい”を応援していきます！



これからのイベント

○『こどもゆめ横丁』11月4日（月・祝）11：00～15：00 ※小雨決行 【説明会 9月28日(土)、29日(日)】
夢パークが子どもたちの商店街に変身。アイデアいっぱいのお店がたくさん!!出店希望者は説明会に参加して下さい。



○かわさき子どもの権利の日事業 『子ども夢パーク 10周年記念フェスタ』

12月1日(日)10：30～15：00 ※雨天決行

夢パーク 10周年を記念しての式典、記念コンサート、プレーパークや広場での様々な遊びコーナーやスタジオ利用者お音楽ライブ、ステージなど、盛りだくさんの一日です！



○初夢新春イベント2014年1月12日（日）11：00～16：00 ※雨天決行

もちつき・どんど焼き・書初めその他こまやベーゴマ・羽根つき・カルタなどの昔遊び、竹細工など、お正月の伝統文化がたくさんあります。

市内施設の各種取組と当財団が主催する講座等のご案内

情報ポケット

かわさき市民活動センター

JR南武線・東急東横線・目黒線武蔵小杉駅下車徒歩3分
JR横須賀線武蔵小杉駅下車徒歩5分 Tel 044-430-5566

かわさき市民活動センターは、活動を始めたり、活動を充実させたい個人や団体を総合的にサポートしています。資金や人材など活動の課題に応じた支援事業を次のように行っています。

①市民活動相談 相談日: 毎週火・土 時間: 14:30~16:30 左記以外の日程は、職員が対応。ボランティア・市民活動を始めたい、組織を立ち上げたい、運営ノウハウ等の相談に経験者である相談員が対応します。



昨年度のフェア(パネル展示)の様子

②ボランティア・市民活動団体のためのパワーアップセミナー 月1回開催



昨年度の市民活動交流会「ごえんカフェ」の様子

③かわさきボランティア・市民活動
平成26年1月25日(土)
ごえん楽市 ~行ってみて
参加して つながろう!~

④中原区子育て支援者養成講座
9月19日(木)より開催
「ひろげよう つなげよう
子育て応援の“わ”」
~あなたも“わ”に加わりませんか?~

その他、市民活動交流会・市民記者養成講座なども予定しています。



25年度 第2期 健康・体力づくりスポーツ教室のご案内



川崎市生涯学習財団で主催する『健康・体力づくりスポーツ教室』の25年度第2期募集についてご案内します。ご参加をお待ちしています。

教室名(定員)	開催期間	曜日・回数・時間	受講料(含:保険料)
エアロビクス(35)保育付	9/2~12/2(9/16.23.10/14.11/4休)	月曜日・全10回・10:00~11:00	7,000円
ボディメイクエクササイズ(35)保育付	9/2~12/2(9/16.23.10/14.11/4休)	月曜日・全10回・11:15~12:15	7,000円
ヨガA(45)	9/3~11/26 (10/29休)	火曜日・全12回・13:30~15:00	8,400円
ヨガB(45)	9/3~11/26 (10/29休)	火曜日・全12回・15:15~16:45	8,400円
気功太極拳<火曜日コース>(40)	9/3~11/19	火曜日・全12回・10:00~11:30	8,400円
気功太極拳<水曜日コース>(40)	9/4~11/20	水曜日・全12回・13:15~14:45	8,400円
ストレッチ健康体操(25)	9/4~11/20	水曜日・全12回・15:40~16:40	8,400円
はじめての太極拳(25)	9/11~11/13	水曜日・全10回・10:00~11:30	7,000円
たのしいフラダンス(25)	9/5~11/21	木曜日・全12回・10:00~11:15	8,400円
リズム&ストレッチ体操(25)	9/6~11/29	金曜日・全12回・10:00~11:15	8,400円
親子リトミックA(35)	9/20~11/22	金曜日・全10回・9:45~10:30	8,000円※
親子リトミックB(25)	9/20~11/22	金曜日・全10回・11:30~12:15	8,000円※

■申込み:往復はがき(各教室1人1枚)に下記事項を記入(返信用にも住所・氏名を)

※印保護者1人、子ども2人の場合は、10,000円

①希望教室名 ②名前(ふりがな) ③性別・年齢 ④住所(〒) ⑤電話・FAX番号

■あて先:〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1(公財)川崎市生涯学習財団事業推進室 スポーツ教室担当

■応募締切:平成25年8月7日(水)必着 ※応募者多数の場合は、抽選になります。

■受講料払込等の案内:抽選結果等と合わせて、締切以降に郵送します。

■申込み・問合せ:スポーツ教室担当 TEL 733-6626 Fax 733-6697

【保育付】1教室あたり、保育児1名につき別途5,800円(税込、保険料含む)がかかります。対象(1才~3才)

あ と が き 80歳で3度目のエベレスト登頂に成功し、世界最高齢登頂記録を更新したプロスキーヤー三浦雄一郎さんの精神力や挑戦力には、驚くばかりだ。世界中が三浦さんの快挙に刺激を受けたに違いない。■今月号の「シニアのパレット」の小澤俊夫さんも80歳を過ぎ、ドイツ文学の研究や昔話を再話する人たちの養成に力を注いできた。■挑戦すること、研究する領域が違って日々の活動を積み重ねて夢や目標を成し遂げる持続力や挑戦力、精神力は、三浦さんのエベレスト登頂に成功した快挙と重なって見える。■お二人の姿は、生涯学習を続けている人、これから始めようとする人たちへの、お手本のように思う。

2013年度後期 かわさき市民アカデミー 地域協働講座 受講生募集!

(地域協働講座とは) NPO法人かわさき市民アカデミーと(公財)川崎市生涯学習財団との協働による企画・運営で、地域との密着性の高い講座です。

コース	講座名	講師	受講料	日時・曜日	定員
A まちづくり	川崎のミュージアムを10倍楽しむ法	川崎市文化財団理事長 北條秀衛 ほか	全5回 4,000円	10/8・22・29・11/12・19 (火)13時半～15時半	40名
B 福祉	対話力アップ講座	川崎いのちの電話研修 担当者会代表 田中幸治	全10回 8,000円	10/23・30・11/6・27・12/4 (水)13時～17時[1日に2コマずつ]	45名
C 大学連携	日本映画の巨匠たち ひと味ちがう映画史講座 Part2	日本映画大学学長 佐藤忠男 ほか	全5回 4,000円	12/11・18・1/15・22・29 (水)13時半～15時	70名
D 企業連携	地域社会に貢献している 川崎の会社と人々 その7	市内企業8社の代表や 研究者 ほか	全10回 8,000円	10/10・17・24・31・11/7 21・28・12/5・12・19 (木)13時半～15時	100名
E 自分史	MY HISTORY — 自分史を本にしてみよう	元NHK文章教室講師 伊中悦子	全5回 4,000円	10/4・18・11/1・15・29 (金)10時～12時	40名
F 子育て支援	発達障がいの理解を深めるII 少年期～青年期の生活 と就労	川崎市発達相談支援セン ター所長 神経小児科 医師 高木一江 ほか	全5回 4,000円	10/11・25・11/8・22・12/6 (金)10時～12時	40名

【申込み締切 8月16日】 NPO法人かわさき市民アカデミーへFax(044-722-5761)または郵送で申込み〒211-0064川崎市中原区今井南町514-1 川崎市生涯学習プラザ3階

★定員に満たない場合は、先着順で9月30日まで追加募集。

★詳細はかわさき市民アカデミー受講生募集案内のチラシや講座ごとのチラシを参照。

■[問合せ] NPO法人かわさき市民アカデミー TEL:044-733-5590(平日9:00～16:00)

夏休みに生田緑地を訪ねてみませんか。



日本民家園



川崎市伝統工芸館



岡本太郎美術館



藤子・F・不二雄ミュージアム



かわさき 宙と緑の科学館



ばら苑

夏最大のお祭り サマーミュージアム2013 開催日時: 8月4日(日) 9:00～20:30

豊かな自然がまちなかに残り多くの文化施設がある生田緑地、夏のひととき、自然と人、暮らし、文化や芸術のつながりを感じる「エコ・文化・新しい生田緑地の魅力発信」をキーワードに生田緑地や周辺地域に関わる、各団体・施設・地域が一体となる真夏の風物詩。当日は、20数点の出店などもあり、一日を楽しめるイベントとなっています。

■問合せ: 生田緑地東口 ビジターセンター TEL 933-2300

生田緑地 検索